

事業報告書

第 11 期 (2012 年度)

自 2012 年 4 月 1 日

至 2013 年 3 月 31 日

京都市中京区六角通新町西入西六角町 101 番地

特定非営利活動法人 リボン・京都

第 11 期 (2012 年度) 事業報告

特定非営利活動法人 リボン・京都

1. 事業成果の概要

外務省日本 NGO 連携無償資金協力事業「南シューナ郡における女性の自立のための洋裁技術職業訓練事業（フェーズ 3）」（実施国 ヨルダン・ハシェミット王国）の終結にあたり、訓練生によるファッションショーをヨルダンの首都アンマンで開催することができました。

訓練生が自作の作品を着用し、音楽に合わせて堂々とウォーキングする様子を目の当たりにし、誠に誇らしく感じました。日本大使館やヨルダン社会開発省からもご出席いただき、高い評価をいただきました。また、当会洋裁指導教科書を日本語、アラビア語、英語三カ国語で発行し、訓練生全員に訓練修了証とともに授与しました。

最終の三年目では、訓練生らが事業終了後も引き続き習得した洋裁技術を向上させながら経済的に自立していけるように、贈与したミシンなど資機材一式を地元のコミュニティーセンターに移動。現地で雇用していた現地洋裁専門家が引き続き、ボランティアで洋裁指導してくれることも引き受けてくれました。また、修了生のリーダーが、2ヶ月に1回、京都の事務局に活動の様子と資機材の状況を報告する契約も結びました。資金が確保でき次第、当会からもアフターケアトレーニングに年に一度行きたいと思っています。

次年度より、小規模ではありますが、東日本大震災、大津波、原発事故の被災者支援を実施予定です。震災地域からは京都へ避難されている方々がたくさんおられます。その中でも洋裁の好きな方々が洋裁技術を磨くことで経済的自立を目指せるよう、また京都での生活にも慣れていただけるよう、当会提供材料などを使用して洋裁技術訓練を行うプロジェクトが進んでいます。

理事長 小玉 昌代

2. 事業の実施に関する事項

I. 特定非営利活動に係る事業

(1) ヨルダン南シューナ郡における女性の自立のための洋裁技術職業訓練事業フェーズ3

- ・実施日時： 2012年3月9日～2013年3月8日
- ・実施場所： バルカ県南シューナ郡
- ・対象者： アル・ジョーフア村、アル・ジャワスレ村の寡婦や未婚女性及び貧困層の女性とその家族、アル・ジャワスレ村の連携NGOの30名(16歳～55歳)
- ・従事者の人数： 事業従事者8名、国内作業従事者20名
- ・支出額： 19,108,670円 / 予定返納精算額 80,689円
- ・現地事業内容：

2010年より外務省日本NGO連携無償資金協力の支援を受け、3年間実施したヨルダン南シューナ郡における洋裁技術訓練事業が2013年3月8日をもって終了した。

フェーズ1では洋裁の基礎を培い、フェーズ2は日本人担当者駐在型指導に移行、事業運営強化に努め、活動の幅を広げた。最終年度となったフェーズ3ではソフト面強化のため、ミシン修理やボディフィッティング講義など多角的なワークショップを実施、事業譲渡後を見据え訓練生の管理能力強化を重視した。

洋裁技術指導では、フェーズ2までに習得した技術の維持と上級レベル作品への挑戦、生産能力向上のための訓練を行った。最も理想的なタイミングで、アンマン市内の小売店から受注も獲得し、日本の帯や着物地を利用した独自の作品が、ヨルダン国内で販売されるようになった。現在でも順調に受注を受け、裨益者の収入創出に役立っている。

事業終了時の修了式典及びファッションショー開催に向け、フェーズ3後半からは企画・制作・運営までを集中して訓練した。その一貫として、訓練生自身で商材買い付け実習を行い、ファッションショーの作品を決定、生地や付属品などを計画的に購入し、実践力を身に付けた。これらにより、自主的制作の意欲が高まり、週末を利用して自らバザーに出品する姿も確認できた。授業ではグループ分けを行い作品制作の担当を決定、すべての工程を全うした。訓練生は、初めて自分で決めた作品を作り、作業に責任を持つことに緊張しながらも、喜びを持ち達成する瞬間までを実感することが出来た。

2013年1月31日、アンマン市内にて当事業修了式典及びファッションショーを実施、波及以上の成果を確認できた。在ヨルダン日本大使館、ヨルダン社会開発省など政府関係者やNGO関係者などを来賓として迎え、事業は佳境を迎えた。実施に当たっては、参加者すべてに各担当を決め、自らのショーのバックステージを支えた。音響・舞台・フォーメーションなど全てを自分たちで企画したファッションショーでは、合計39作品を披露。来場者から総体的に高評価も得られ、訓練生らは初めての実質的な自信を持つことができた。当日の地元ラジオや地元新聞にも取り上げられ、多くの問い合わせを受けた。

今後は現地連携団体代表の管轄のもと、技術リーダーと販促リーダーが中心となって活動を運営、技術移転の維持継続していく。当会とは資機材管理や活動に関する持続発展におけるフォローアップ契約を結び、今後も情報共有を行っていく。また当事業にて3年間現地洋裁教員として雇用していた現地スタッフが、毎月一回現地を訪問し、指導相談に乗

る。現地からは 2 か月に一度フォローアップレポートを日本へ提出し、現地の進捗や管理運営の相談などを共有し、当会本部から指導や助言を行っていく。

・現地派遣状況

派遣事業担当者 2012年3月～2013年3月
現地事業責任者、事業担当者(洋裁技術) 各1名
派遣専門家 2013年1月29日～2月7日
理事長、理事兼洋裁指導責任者
(洋裁指導責任者授業、修了式及びファッションショー)

指導内容

- 中級・上級レベルの洋裁技術指導と品質維持
- 製図実習
- 洋服の仕立とボディフィッティングを学ぶワークショップ
- 商材の仕入れと商品開発を学ぶ校外学習
- ミシンの修理・管理法を学ぶワークショップ
- マーケティング授業、イベント企画(ファッションショー)
- ファッションショー企画立案・運営・制作
- 事業管理能力強化
- 運営リーダー育成
- 資機材管理方法

成果

- 三カ国語(英語・アラビア語・日本語)洋裁テキストブック完成
- 販売店との受注生産体制が整った
- ヨルダン地元紙2面に活動内容が紹介され、活動の幅が広がった
- 縫製工場就職3名
- 作品収入(年間の当会からの仕立代 + ヨルダン国内での売上金合計)
総額: 1,282.4 ヨルダンディナール(約147,000円)
作品収入は一部を事業譲渡後の活動資金、残りは訓練生に分配

(2) ラオス・サバナケート県立職業訓練校とのフェアトレード事業

- ・実施日時: 通年
- ・実施場所: ラオス国サバナケート県 県立職業訓練校洋裁科
- ・対象者: サバナケート県近郊の女性50名、教員4名
- ・従事者人数: 20名(国内作業従事者20名)
- ・事業内容: 2007年 外務省日本NGO連携無償資金協力を受け、サバナケート県立職業技術訓練校に洋裁科を設立。三年に渡り同校で洋裁技術指導事業を実施し2010年1月に事業を終了した。その後訓練生らが習得した洋裁技術の維持向上のために同校とフェアトレード形式の指導を継続しており、本年度も実施。
- ・指導内容(年間): ベーシックカーデガン、ロングコート、フード付リバーシブルコート、モッズコート、フレアブラウス、スカート、キュロットパンツ、パジャマ、帯地バ

ッグ、ワンピース、浴衣ブラウス、貫頭衣、リバーシブルワンピース、ノースリーブコート、リバーシブルベスト、シャツブラウス、カエル小物、羽織ジャケット

・仕立て代支給額（年間計）： 総額 125,500 円

(3) ラオス・ビエントーン村 フェアトレード事業

- ・実施日時： 通年
- ・実施場所： ラオス国ビエンチャン県ヒンフープ郡ビエントーン村
- ・対象者： ビエントーン村の女性約 40 名（19 歳～53 歳）
- ・従事者人数： 20 名（国内作業従事者 20 名）
- ・事業内容： 2007 年ボランティア貯金の寄附金配分を受け、ビエンチャン県ヒンフープ郡ビエントーン村にて洋裁と草木染、織物の指導を実施。その後も訓練生らが習得した洋裁技術の維持向上のためにフェアトレード形式の指導を継続しており、本年度も実施。
- ・指導内容： 草木染スカーフ、裂織生地、テーブルマット
- ・仕立て代支給額（年間）： 総額 28,796 円

(4) ベトナム 洋裁指導・フェアトレード事業

- ・実施日時： 通年
- ・実施場所： ホーチミン市
- ・対象者： ホーチミン市の婦人学級の卒業生 2 名
- ・従事者人数： 20 名（国内作業従事者 20 名）
- ・事業内容： 当会洋裁指導卒業生に日本から教材を送り、出来上がった作品を返送してもらい、作品の評価・採点、注意点などを伝達することで、修了生らの洋裁技術維持向上を行っている。
- ・指導内容（年間）： ラグランコート、フード付ラグランコート、ワンピース、リバーシブルフード付ジャケット、サマーコート、羽織ジャケット、宝石袋、パッチワーク巾着袋
- ・仕立て代額（年間）： 総額 44,126 円

(5) プロジェクト調査事業 <平成 24 年度国際開発協力関係民間公益団体補助事業（外務省）>

- ・実施期間： 2012 年 4 月 9 日～6 月 6 日
- ・補助金額： 1,287,098 円
- ・実施内容： ルワンダにおける日本の洋裁技術移転の可能性についてプロジェクト調査を実施。調査を通じて現地で直接情報収集を行うとともに、プロジェクト実施場所、協力体制の確認ができ、今後の計画実現に向け前進した。

(6) 人材育成事業

① NGO インターンプログラム（外務省）

- ・実施期間： 2012 年 6 月 1 日～2013 年 3 月 31 日
- ・助成金額： 2,046,868 円
- ・実施内容： 国際協力分野における若手人材育成のための門戸を広げると同時に、若手人材育成を通じて NGO による国際協力拡充を目的に外務省が NGO にインターン育成を委託。本年度当会は 1 名をインターン生として受け入れ、国内での育成を実施すると同時にヨルダンにも海外派遣した。

② 就業実習生受け入れ（京都障害者就業・生活支援センター）

- ・実施期間： 2012年5月15日～7月10日
- ・実施内容：京都障害者就業・生活支援センターより、職場実習生を1名受入れ、当会で無償にて、洋裁就業実習を実施。

(7) バザー事業（バザー事業+その他事業）

- ・実施日時： 通年
- ・実施場所： 下記参照
- ・従事者の人数：20名
- ・実施内容：海外開発支援活動において当会洋裁技術訓練修了生らが製作したりボンウェアや小物等（バザー事業）および国内購入スカーフ等の商品（その他事業）を展示販売するチャリティー展示即売会、委託販売、バザーを実施。訓練生の技術習得の成果を問う機会とした。本年度は売上金合計3,663,285円。洋裁指導事業活動資金に充当。また本年度はネット販売も開始した。<http://reborn-kyoto.ocnk.net/>

(a. バザー事業)

販売場所	期 間	売上
リボン・京都販売店 三田村	通年	1,206,580円
京都高島屋	9月	1,641,650円
菊屋雑貨店	通年	10,850円
瓢樹	通年	85,900円
奈良木立バザー	1月	108,600円
京都府庁バザー	3月	21,100円
その他事務局などでの売上	通年	226,205円
(b. その他事業)		
スカーフ、ネクタイ、お仕立て等	通年	362,400円
上記 a+b 売上総額		3,663,285円

(8) 国際協力関連広報事業

① 龍谷大学 特別講義 国際NGO論

- ・日時：2012年11月7日
- ・場所：龍谷大学
- ・参加人数：龍谷大学 経済学部および法学部の学生37名
- ・実施内容：日本の着物で女性の自立を支援する取り組みをテーマに、小玉理事長と中島洋裁指導責任者が講義。着物の端切れがうちわに生まれ変わるワークショップも実施し、実際に途上国で行われる洋裁訓練の一部を体感することで理解を深めた。全員参加型グループ・ディスカッションでは、国際協力における様々なアイデアも飛び出し、世代を超えた交流となった。

② 米国ボストンより来日の女子大学院生への国際協力活動講義

- ・日時：2013年3月14日
- ・場所：リボン・京都事務局
- ・実施内容：ボストン・シモンズカレッジより MBA プログラムの一環として、同校教授2名の引率で、17名の MBA 女子大学院生が来日。当会国際協力事業について理事長が講義を行い、国際協力とビジネスについての活発な討論も行われ、当会および国際協力活動への理解を深めることができた。

③ ヨルダン帰国報告会

- ・日時：2013年3月29日
- ・場所：リボン・京都事務局
- ・参加人数：20名
- ・実施内容：外務省日本 NGO 連携無償資金協力事業「ヨルダン南シューナ郡における女性の自立のための洋裁技術職業訓練事業」現地事業責任者および現地事業担当（洋裁専門家）による事業終了帰国報告会を開催。会員の皆様を中心にご出席いただいた。初めての報告会実施により、「海外事業内容が直接よく理解できた。これからもリボン・京都を応援していきたい」との感想もいただけ、本事業および当会活動に対する理解の深化が図れた。

(9) 国内における人材育成

洋裁講習 週 1 回、本部事務局にて、海外洋裁指導員養成のため講習を実施。主に現地で指導にあたる者が受講し、本会洋裁指導責任者指導のもと洋裁技術を向上させた。

英語講習 週 1 回、本部事務局にて、海外事業調整や海外事業やチャリティー運営を円滑に行うための語学力を養う目的で、米国人英語講師のもと、英語講習を実施。

(10) 着物の募集活動

会誌、新聞、イベントを通じて古着物の寄贈を呼びかけ、全国より着物が寄贈された。種類別に仕分け保管し、必要に応じて選び出し、海外事業地での洋裁指導教材として活用。

<2012年度 着物寄贈状況>

○ 着物	313 点
○ 帯	160 点
○ 羽織	202 点
○ 浴衣	44 点
○ コート	72 点
○ 襦袢	38 点
○ 布地	47 点
○ 着物反物	55 点
○ 浴衣反物	7 点
○ 留袖	14 点
○ その他	153 点

合計 1,105 点

3. 会務報告

(1) 2012年度会員状況(2013年3月31日現在)

	期首	増	減	期末
正会員	37名	0人	1名	36名
賛助会員	50名	0名	6名	44名
ボランティア会員	3名	0名	0名	3名

正会員・ボランティア会員活動状況：

活動日： 毎週火曜日、金曜日（年間通算 140日）

活動場所： 本部事務局

活動内容： 寄贈着物の仕分け・保管。海外洋裁指導に向けた資機材準備、着物の選び出し、着物のほどき、洗い、干し、アイロンがけ。サンプル教材製作、付属教材準備。海外現地完成作品の品質チェック、手直し、ボタン、タグ付け。チャリティーバザー出品用手芸品製作、チャリティーバザー展示準備、接客、販売、その他事務局業務補助。

(2) 役員状況

	氏名	常勤／ 非常勤	現職・所属	任期
理事長	小玉昌代	常勤	(特活)リボン・京都 理事長 (社)日本国際民間協力会 理事	2012年6月1日～2014年5月31日
理事	中島茂代	常勤	(特活)リボン・京都 洋裁指導責任者	2012年6月1日～2014年5月31日
理事	小野了代	非常勤	(社)日本国際民間協力会 理事長	2012年6月1日～2014年5月31日
理事	猪野三智子	非常勤		2012年6月1日～2014年5月31日
理事	都留良子	非常勤		2012年10月30日～2014年5月31日
理事	渋谷みち子	非常勤		2012年10月30日～2014年5月31日
監事	北野與志朗	非常勤	公認会計士	2012年6月1日～2014年5月31日

*濱 廣信氏が任期満了にて、2012年5月31日 理事退任

*都留 良子氏、渋谷 みち子氏が新理事として2012年10月30日就任

(3) 職員状況 (2013年3月31日現在)

	有給専従職員	有給非専従職員	無給専従職員
国内	2名	2名	1名
海外	0名	2名	0名

海外：ラオス有給非専従現地職員：1名 ベトナム有給非専従現地職員：1名

(4) 総会および理事会 審議事項

<総会>

2012年度通常総会

- ・日時 2012年5月29日(火)
- ・場所 特定非営利活動法人リボン・京都 事務局
- ・出席者 33名(内22名は委任状出席)
- ・審議事項 ① 2011年度 事業報告・会務報告
② 2011年度 計算書類報告
③ 定款一部変更
④ 任期満了に伴う役員を選任
- ・報告事項 2012年度および2013年度 事業計画と活動予算

2012年度臨時総会

- ・日時 2012年10月30日(火)
- ・場所 特定非営利活動法人リボン・京都 事務局
- ・出席者 37名(内21名は委任状出席)
- ・審議事項 ① 定款一部変更について
② 財務諸表注記の変更について
③ 新理事選任について

<理事会>

2012年度第1回理事会

- ・日時 2012年5月21日(月)
- ・場所 特定非営利活動法人リボン・京都 事務局
- ・出席者 理事5名、監事1名(内1名は委任状出席)
- ・審議事項 ① 2011年度 事業報告
② 2011年度 決算報告
③ 任期満了に伴う役員選任の件
④ 2012年度通常総会に付議すべき事項承認の件
- ・報告事項 今後の活動予定

2012年度第2回理事会

- ・日時 2012年5月29日(火)
- ・場所 特定非営利活動法人リボン・京都 事務局
- ・出席者 理事5名、監事1名(内3名は委任状出席)

- ・審議事項 ① 2013 年度事業計画書
- ② 2013 年度活動予算書

2012 年度第 3 回理事会

- ・日時 2012 年 10 月 25 日 (木)
- ・場所 特定非営利活動法人リボン・京都 事務局
- ・出席者 理事 5 名、監事 1 名
- ・審議事項 ① 臨時総会開催について
- ② 定款一部変更について
- ③ 財務諸表注記について
- ④ 2012 年度事業計画の変更および 2013 年度事業計画について
- ⑤ 2012 年度活動予算の変更および 2013 年度活動予算について
- ⑥ 新理事選任について
- ⑦ 資金繰りについて

2012 年度第 4 回理事会

- ・日時 2013 年 3 月 21 日 (木)
- ・場所 特定非営利活動法人リボン・京都 事務局
- ・出席者 理事 5 名、監事 1 名
- ・審議事項 ① 2013 年度事業計画
- ② 2013 年度予算案

(5) 会誌発行

「News! 甦 vol. 19」

発行：2012 年 7 月 1 日

- 内容：・ヨルダン南シューナ郡における女性の自立のための洋裁技術職業訓練事業フェーズ 3
- ・2011 年度 国際開発協力関係民間公益団体補助 プロジェクト調査事業(ラオス)
 - ・「おしゃれ」で世界とつながる！～少女・女性の労働の現実と ILO/NGO の取り組み
 - ・米国ボストンチャリティーセール
 - ・京都チャリティーファンラン開催
 - ・2011 年度活動計算書

「News! 甦 vol. 20」

発行：2012 年 12 月 1 日

- 内容：・ヨルダン南シューナ郡における女性の自立のための洋裁技術職業訓練事業フェーズ 3
- ・2012 年度 国際開発協力関係民間公益団体補助 プロジェクト調査事業(ルワンダ)
 - ・京都高島屋「着物で世界に笑顔を！ リボン・京都チャリティー展示即売会」
 - ・祇園祭チャリティーセール
 - ・龍谷大学出張講義「現場での経験を、未来を担う若者に伝える」
 - ・京都障害者就業・生活支援センターより職業実習生受け入れ
 - ・ミニ手芸教室開催
 - ・オンラインショッピングサイトオープン